

第1回 公立八鹿病院組合あり方検討委員会

2026年9月1日
公立八鹿病院 第1講堂

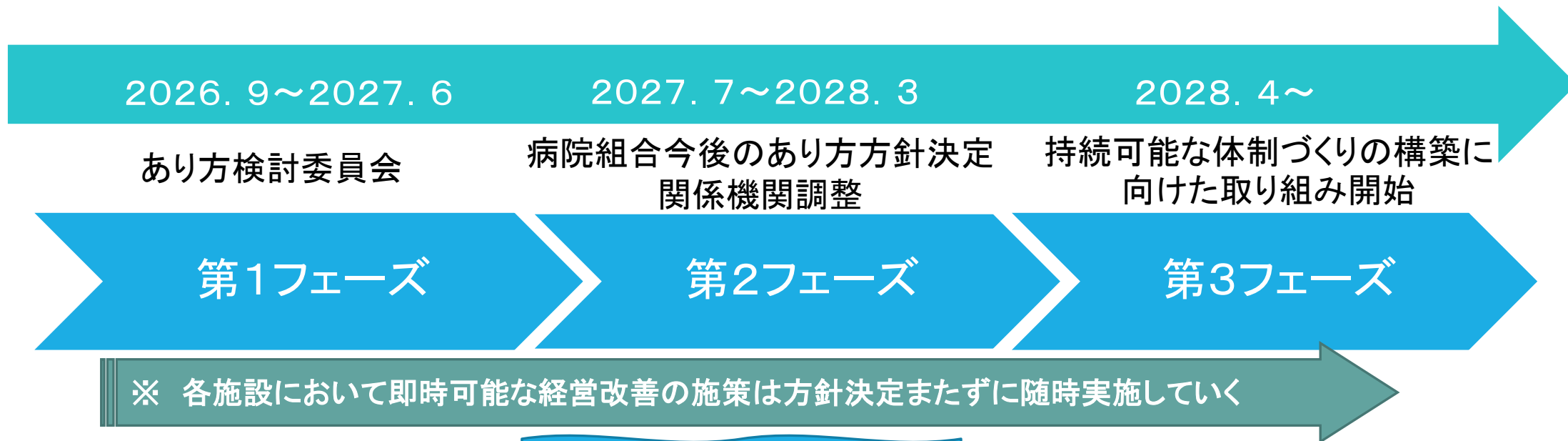
公立八鹿病院組合における あり方検討の目標

	短期〔主〕	中長期
目標	経常収支10億円の改善 (取組み3年目〔R11〕 の経常収支均衡)	2040年に必要とされる体制 を視野に入れた基盤づくり

検討の前提

- ① すべての施設の機能、規模等を対象とする(聖域なし)。
- ② 構成市町等の行政や但馬医療圏域の関係機関との調整を図りながら進める。
- ③ 独自に取り組める経営改善は、②にかかわらず積極的に取り組む。
- ④ 客観的、専門的見地から助言を得るために「あり方検討委員会」を設置し、その助言を尊重して今後の実施計画を推進する。

今後のあり方検討ロードマップ



委員会スケジュール

第1回 2026. 9

外部環境調査結果・内部環境調査結果の一部

第2回 2026. 11予定

内部環境調査結果 ヒアリング結果 方向性案の提示

第3回 2027. 2予定

方向性案のメリット・デメリットなど

第4回 2027. 4予定

選択枝案の絞り込み 委員会の方向性案検討

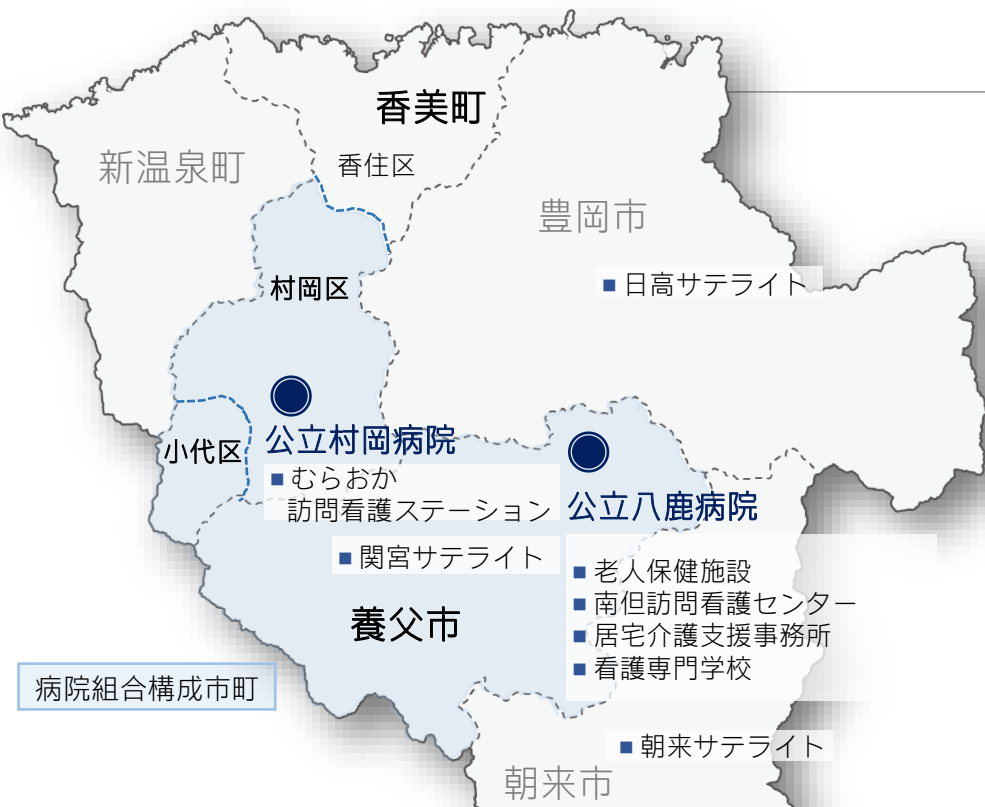
第5回 2027. 5予定

第4回の継続議論

第6回 2027. 6予定

あり方検討委員会報告書協議

病院組合の概要



公立八鹿病院 看護専門学校 [1992.4築]

【課程】

医療専門課程 看護学科 (3年課程)

【学生定員】

1 学年30名 総定員90名

公立八鹿病院 [2007.9築]

【診療科目】

内科/呼吸器科/循環器科/消化器内科/精神神経科/脳神経内科/脳神経外科/胃腸科/小児科
外科/乳腺外科/緩和ケア科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科
リハビリテーション科/放射線科/麻酔科/救急科/総合診療科/歯科口腔外科

【許可病床数】

- 一般/328床 急性期一般入院基本料2：102床
障害者施設等10対1入院基本料：38床
回復期リハビリテーション病棟入院料1：50床
地域包括ケア病棟入院料2：50床
緩和ケア病棟入院料2：20床 休床：68床
- 療養/ 45床 療養病棟入院基本料 2
- 結核/ 7床 結核病棟10対1入院基本料

公立八鹿病院 福祉センター [1992.11築]

▷ 公立八鹿病院老人保健施設

【定員】

デイケア (40人)

入所 (98床) 2階: 49床 + 3階: 49床

▷南但訪問看護センター

関宮サテライト/朝来サテライト/日高サテライト

▷居宅介護支援事業所（ケアプランセンター）

公立村岡病院 [1991.7築]

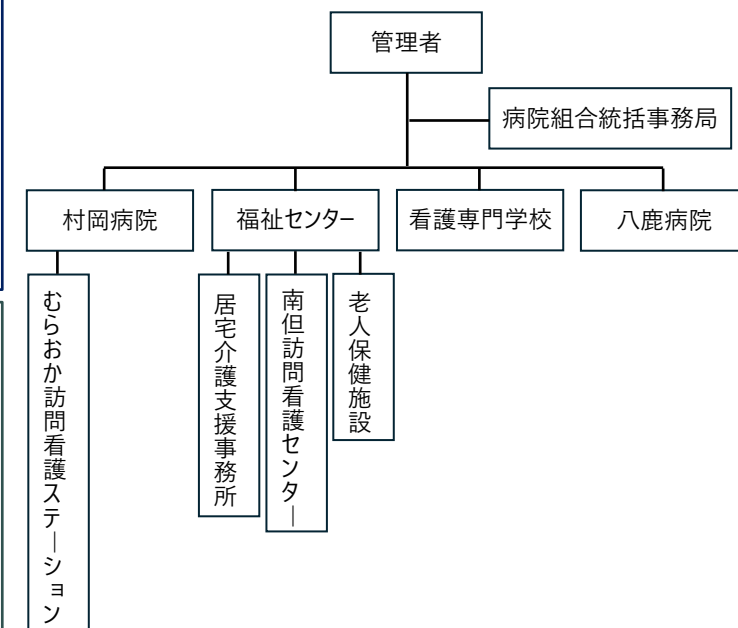
【診療科目】

内科/外科(休止)/眼科(休止)/小児科(休止)
リハビリテーション科/放射線科

【許可病床数】

- 一般/42床 急性期一般入院基本料 6 : 16床
地域包括ケア入院医療管理料 : 21床
休床 : 5床

▷むらおか訪問看護ステーション



令和7年度決算の状況

(税抜、単位：百万円)

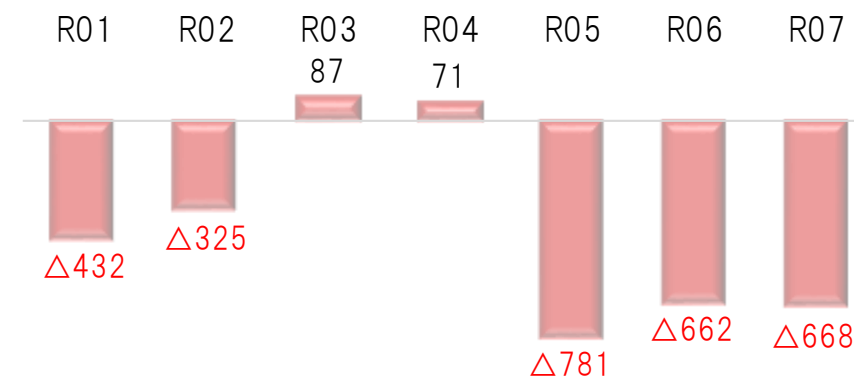
	八鹿病院	村岡病院	病院事業 計		むらおか訪問 看護ステーション	看護 専門学校	老人 保健施設	南但訪問 看護センター	居宅介護 支援事業所	病院組合 計
医業収益	6,167	455	6,623	事業収益	41	24	626	286	21	7,620
医業外収益	1,210	147	1,357	事業外収益	0	109	66	1	3	1,537
特別利益	1	0	1	特別利益	0	0	0	0	0	1
収益合計	7,379	602	7,980	収益合計	41	133	693	287	24	9,159
医業費用	7,576	616	8,192	事業費用	42	164	776	287	31	9,491
医業外費用	291	20	310	事業外費用	0	3	14	2	0	329
特別損失	2	0	3	特別損失	0	1	4	0	0	7
費用合計	7,869	636	8,505	費用合計	42	167	794	289	31	9,828
事業収支	△490	△34	△524	事業収支	△1	△34	△101	△2	△6	△668

事業収支及び現金預金の推移

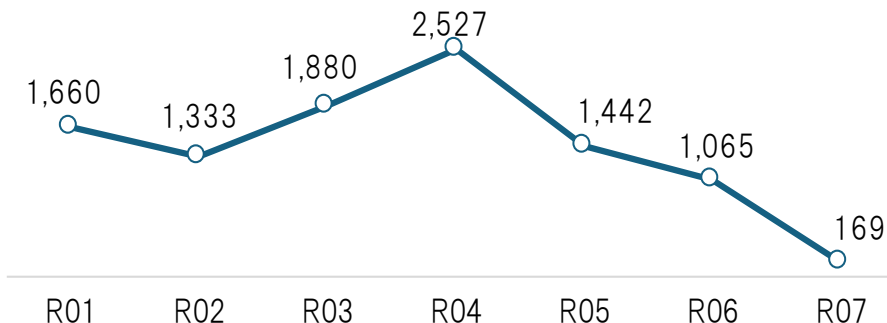
(税抜、単位：百万円)

		R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
事業収益	八鹿病院	6,838	7,109	7,240	7,588	6,924	7,034	7,379
	村岡病院	556	588	593	546	536	539	602
	むらおか訪問看護ステーション	45	49	51	47	47	46	41
	看護専門学校	132	126	129	119	117	118	133
	老人保健施設	604	635	624	653	611	616	693
	南但訪問看護センター	357	351	372	366	314	291	287
	居宅介護支援事業所	19	20	21	19	19	21	24
	計	8,551	8,878	9,030	9,337	8,567	8,665	9,159
事業費用	八鹿病院	7,281	7,438	7,227	7,544	7,601	7,518	7,869
	村岡病院	540	570	546	559	590	602	636
	むらおか訪問看護ステーション	41	40	38	43	41	41	42
	看護専門学校	169	157	156	158	157	164	167
	老人保健施設	623	660	646	642	651	699	794
	南但訪問看護センター	302	311	301	295	282	271	289
	居宅介護支援事業所	28	27	29	25	28	31	31
	計	8,984	9,204	8,942	9,266	9,348	9,327	9,828
事業収支		△432	△325	87	71	△781	△662	△668

事業収支の推移
(単位：百万円)



現金預金の推移
(単位：百万円)



経常収支10億円の改善を要する理由

単位:百万円

	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
年度末 現金・預金	1,660	1,333	1,880	2,527	1,442	1,065	169
対前年度末 増減 (a)	△406	△327	547	647	△1,085	△377	△896
特 記 (b)			400 有価証券満期 400	600 有価証券満期 600	△400 有価証券購入 △600 未収金 200	200 有価証券満期 200	70 対前年度末払金増 △260 構成市町特別支援 330
特記を除く 現金・預金増減 (a)-(b)	△406	△327	147	47	△685	△577	△966

令和7年度末の現金・預金は169百万円となり、前年度末より896百万円減少した。
 このうち、特記に掲げている構成市町からの特別支援等の要因を除いた、実質の経営収支に伴う現金・預金の減少は966百万円となる。
 今後も同様の収支で推移すると、年間で約10億円の現金・預金の減少が見込まれる状況にある。